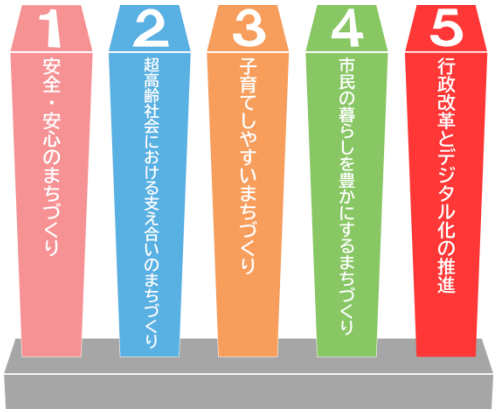
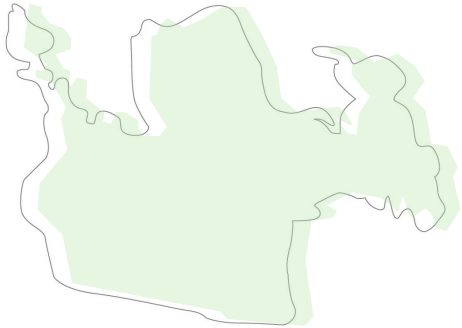
本日の説明内容

1. 次期基本計画の性格

第3章
まちづくりの指針 → 「調布 新時代」の
まちづくりに向けて

2. 重点政策5つの柱





3. 「組織横断的な取組」の示し方

危機管理	子ども	教育	福祉	産業観光	文化ｽﾎﾟｰﾂ	都市整備	環境

1.　次期基本計画の性格

前回 行政経営会議
第3章
まちづくりの指針

▶

「調布 新時代」の
まちづくりに向けて

・・・　冒頭で計画の性格を表し、市政の「変化」を示す

長友市政におけるこれまでの取組、成果をまとめた上で、
市民生活の質の更なる向上のために林市政において取り組むまちづくりの方向を示します。

これまで
（長友市政）

高齢者・障害者福祉の向上、子育て支援や教育環境の充実、
調布駅前広場整備をはじめとする都市基盤整備など、
多くの成果を積み重ね、着実な発展を遂げてきました。

▶

これから
（林市政）

社会情勢や人口構造の変化を踏まえながら、
これまでの成果を生かし、
地域経済の活力向上と市民生活の質の向上を両立する
まちづくりを進めます。

市長あいさつ
「調布 新時代」のまちづくりに向けて
第1編 総論
第1章 概要
第1節 位置付け
第2節 計画期間
第3節 構成
第4節 策定の視点
第5節 進行管理
第6節 地方版総合戦略との関係
第2章 策定に当たっての前提
第1節 社会潮流
第2節 人口
第3節 財政
第4節 土地利用
第2編 重点政策
第1章 重点政策5つの柱
第2章 インフラ整備と地域別まちづくり
第3編 分野別計画
第4編 行革プラン
第5編 地域別計画

「調布 新時代」のまちづくりに向けて

これまで

高齢者・障害者福祉の向上、子育て支援や教育環境の充実、調布駅前広場整備をはじめとする都市基盤整備など、多くの成果を積み重ね、着実な発展を遂げてきました。

都市基盤の整備

調布駅周辺連続立体交差事業
中心市街地整備
鉄道敷地整備
道路ネットワーク整備
都市公園・公共空間の整備
地域資源を生かしたまちづくり

市民サービスの充実

#子ども・教育
子ども医療費無償化
給食費無償化
はしうち教室設置
子ども発達センター開設

#福祉
地域包括ケアシステムの推進
認知症支援施策の充実
障害者福祉施策の充実

#行政サービス
窓口サービスの向上
行政手続のデジタル化
公共施設マネジメントの推進

新たな理念

自治基本条例(参加と協働)
ゼロカーボンシティ宣言
調布市子ども条例
東京2020大会レガシーの継承
ラグビーワールドカップ2019レガシーの継承
共生社会の充実
パラハートちょうふ
多様性を尊重するまちづくり

社会課題への対応

東日本大震災への対応
台風19号への対応
新型コロナウイルス感染症への対応
給食アレルギー事故を踏まえた安全対策
物価高騰対策
防災・減災対策の強化

これから

社会情勢や人口構造の変化を踏まえながら、これまでの成果を生かし、地域経済の活力向上と市民生活の質の向上を両立するまちづくりを進めます。

「挑戦する事業者を育て、地域経済を動かす産業振興」へ

経済対策は市民の暮らしを支える重要な柱であり、力強い地域経済の実現を通じて市民生活の質の向上を図る

様々な主体がつながり、新たな価値を生むまちへ

限られた経営資源を効果的に活用し、質の高い行政サービスを持続的に提供していくために、多様な主体がつながり、それぞれの強みを生かしながら地域の課題解決や新たな価値の創出を図る

調布の魅力を発信し、選ばれるまちへ

スポーツ・文化芸術、豊かな自然環境などの地域資源や必要な情報を分かりやすく発信し、選ばれるまちとしての調布の認知度の向上、シビックプライドの醸成を図る

基本的な取組は継続し、
さらなる市民生活の向上を目指します

「共創のまちづくり」の基本的な考え方

社会や人々の価値観の移り変わりを捉え、持続可能で魅力あるまちづくりを進めるためには、まちづくりに関わるあらゆる主体が、それぞれの持つ強みや社会の中での存在意義を踏まえ、各役割を発揮することが重要です。
「共創のまちづくり」を効果的に推し進めていくために、共創により目指すまちのありたい姿や、その実現に向けた各プレーヤーの役割などを「調布市みらい共創ビジョン（令和8年5月策定）」としてまとめました。



「共創」とは

立場や目的の異なる多様な主体が、社会的課題の解決と経済的価値の両立を目指す中で、対話を重ねながら、お互いの強みを活かし、これまでにない新たな価値を生み出すこと（イノベーション）。

共創のまちづくりにおいて、各プレーヤーに期待される役割

産<企業>	**「共創」による価値の創出を強力に推し進める** 課題解決にスピード感を持って応え、自身と社会全体の持続的な成長につなげる
学<大学・研究機関>	**知見や技術を活かしイノベーションの拠点となる** 社会で活躍する人材を育て、研究成果を地域社会に広げる
官<行政（調布市）>	**「共創のまちづくり」を進める土壌をつくる** 幅広い市民がまちづくりに参加しやすい環境を整える 各プレーヤーがその強みを最大限に発揮できるよう機能
民<市民>	**「理想の未来」のタネをまく** どんなまちにしたいかを積極的に発信し、望むまちにつながるよう行動

基本計画（R9～12年度）における「共創のまちづくり」

新たな「価値」の創造

まちに暮らす人々のWell-Beingを高めていくために、「共創のまちづくり」により、まちの“価値”を高めます。

行革プラン（R9～12年度における「多様な主体と進めるまちづくり」

参加と協働のまちづくりの実践

社会状況の変化や市民生活の多様化を踏まえ、より多くの幅広い市民が取組に関わることのできるしくみづくり

共創のまちづくりの推進

多様な主体がそれぞれの強みを最大限に発揮し、効果的な共創を推し進めていくためのしくみづくり

共創に取り組む上での 3つの基本理念

1 **市民起点**
まちづくりの主役は「市民」

2 **新たな価値の創造**
マイナスの解消だけでなく、今ある強みをより高める視点も重要

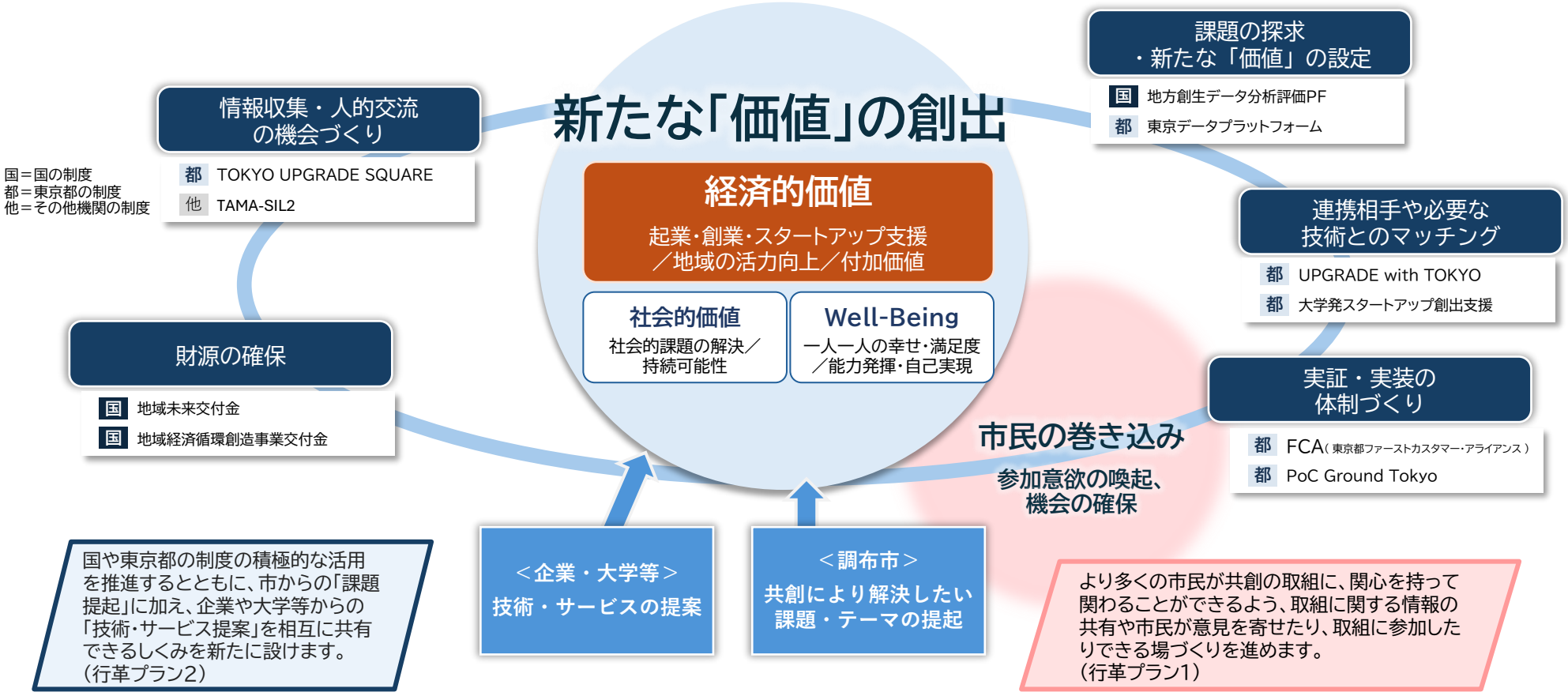
3 **分野横断型の発想**
既存の政策分野にとらわれない柔軟な発想

「共創」による効果を最大化するための 4つの視点

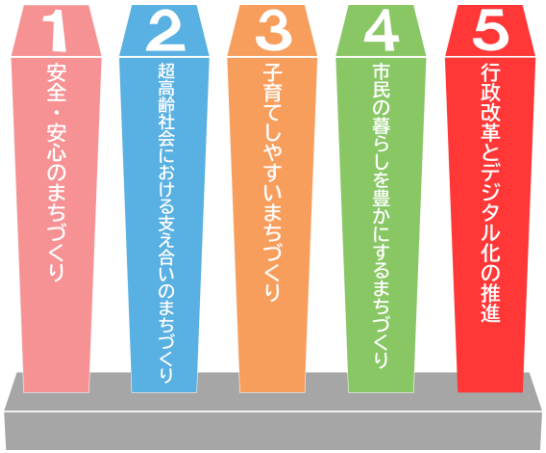
- 「持続可能性・将来性」の視点
- 「賑わい・地域資源の活用」の視点
- 「あらゆる人にとっての快適さ」の視点
- 「多様な主体の巻き込み」の視点

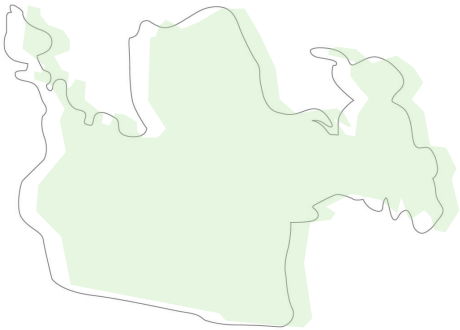
これからの「共創のまちづくり」の進め方

まちに暮らす人々のWell-Beingを高めていくために、「共創のまちづくり」により、まちの“価値”を高めていきます。
特に重要視する“価値”は、「経済的価値」の創出であり、従来の「発注・受注の関係」にとどまらず、地域経済の活性化やまちの魅力向上につながる共創を推し進めます。
「共創のまちづくり」を進めるために、市は、幅広い市民がまちづくりに参加しやすい環境を整えるとともに、各プレーヤーがその強みを最大限に発揮できるしくみづくりに取り組みます。



2. 重点政策5つの柱





前回行政経営会議からの変更点 ❶

重点政策2　超高齢社会に備えるまちづくり
▼
超高齢社会<u>における支え合いの</u>まちづくり

前回行政経営会議からの変更点 ❷

- 重点政策に位置付ける背景
- 政策のねらい
- 事業選定の視点（所信表明キーワード）

→ 重点政策ごとに整理

前回行政経営会議からの変更点 ❸

- 各地域での取組が市域全体に効果をもたらすように見せ方を工夫
- 「インフラ整備と地域別まちづくり」の取組を重点政策に追加



第1章　重点政策5つの柱

1 安全・安心のまちづくり

重点政策に位置付ける背景

・激甚化・頻発化する自然災害
・首都直下地震等への備え
・地域防災の担い手を取り巻く環境の変化
・多様化・巧妙化する犯罪の増加

政策のねらい

激甚化する自然災害や特殊詐欺などの犯罪、不確実性が高まる社会環境に的確に対応し、地域の防災力・防犯力を高めることで、市民の生命と暮らしを守り、誰もが安心できるまちづくりを推進します。

事業選定の視点（所信表明キーワード）

地域防災力の向上
地域防災活動の充実
震災対策
避難所の利便性・安全性
市内河川の各流域における浸水対策
気候変動対策（ゼロカーボン）
防犯対策（特殊詐欺・闇バイト対策・防犯カメラ）
東部地区における交通環境の改善（インフラ）

2 超高齢社会における支え合いのまちづくり

重点政策に位置付ける背景

・高齢化の進行と生産年齢人口の減少
・健康寿命の延伸と社会参加ニーズの高まり
・医療・介護ニーズの増大
・地域における介護・福祉人材の不足
・地域共生社会の実現に向けた取組の進展

政策のねらい

超高齢社会に対応するため、高齢者の健康づくりや社会参加の促進、地域包括ケアの充実を図るとともに、障害の有無にかかわらず誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指します。

事業選定の視点（所信表明キーワード）

高齢者が活躍できる場の整備
健康寿命延伸の取組
地域包括ケアシステムの深化・推進
介護人材確保支援・地域人材の活用
障害者福祉施策の充実

3 子育てしやすいまちづくり

重点政策に位置付ける背景

・少子化の進行と年少人口の減少
・こども基本法の制定
・子育て家庭を取り巻く環境の変化・ニーズの多様化
・子育ての経済的負担と仕事・子育ての両立
・子どもを取り巻く課題の複雑化・多様化
・教育を取り巻く環境の変化

政策のねらい

子育て家庭への切れ目ない支援と質の高い教育環境の充実を進め、子どもたちの健やかな成長を支えるとともに、「子育てするなら調布市で」と選ばれるまちを目指します。

事業選定の視点（所信表明キーワード）

切れ目ない支援の継続
病児保育の充実
保育人材の確保支援
学童クラブの受入体制拡大
保護者の負担軽減
デジタル技術を活用した学びの推進
教育環境の充実
学校施設の計画的な更新

4 市民の暮らしを豊かにするまちづくり

重点政策に位置付ける背景

・人口構造の変化と地域経済の担い手不足
・複雑化する社会課題に対応するための多様な主体との共創の必要性
・「選ばれるまち」の実現に向けた地域の魅力発信の重要性の高まり
・地域資源を生かしたにぎわい創出・地域活性化への期待

政策のねらい

あらゆる地域資源を最大限に活用し、力強い地域経済を実現するとともに、観光やスポーツを通じたにぎわいと交流を創出し、市民の豊かな暮らしの実現を目指します。

事業選定の視点（所信表明キーワード）

市内事業者への支援
商店街の活性化
人材確保支援
創業支援
都市農業の振興・農業者支援
地域資源を活用した観光振興
スポーツ環境の充実
スポーツ資源を活用したにぎわいの創出と地域交流の促進（インフラ整備）
深大寺周辺のまちづくり（インフラ整備）

5 行政改革とデジタル化の推進

政策のねらい

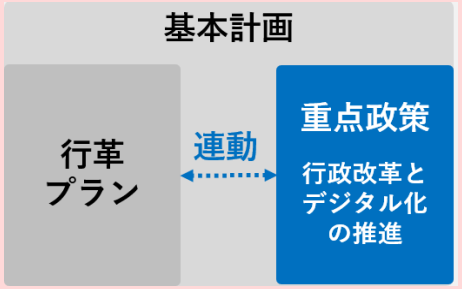
限られた経営資源を効果的・効率的に活用し、質の高い市民サービスを将来にわたり提供していくため、AIをはじめとするデジタル技術の活用によるサービス向上や効率化など、デジタル化の推進を始めとした「質的な改革」と民間活力の活用によるコスト縮減など「量的な改革」を両立させながら、行政改革に取り組みます。

次期行革プランの主な取組

○市役所の窓口改革の推進
○受益者負担の適正化
○事務事業等の見直し、改善による経常経費の縮減
○公共施設マネジメントの推進
○スマホ市役所の実現に向けた検討の推進
○デジタルデバイド対策
○デジタル技術の活用によるDX推進
など

行政改革（行革プラン）

行革プラン2023の構成を継承しつつ、
これまでの取組を深化・再構築し、
次期行革プランとして
行政改革の取組を推進します。



デジタル化の推進

調布市デジタル化総合戦略の趣旨等を基本計画の重点政策に包含し、各施策や行革プランに位置付ける取組をデジタルの視点から横断的に推進します。

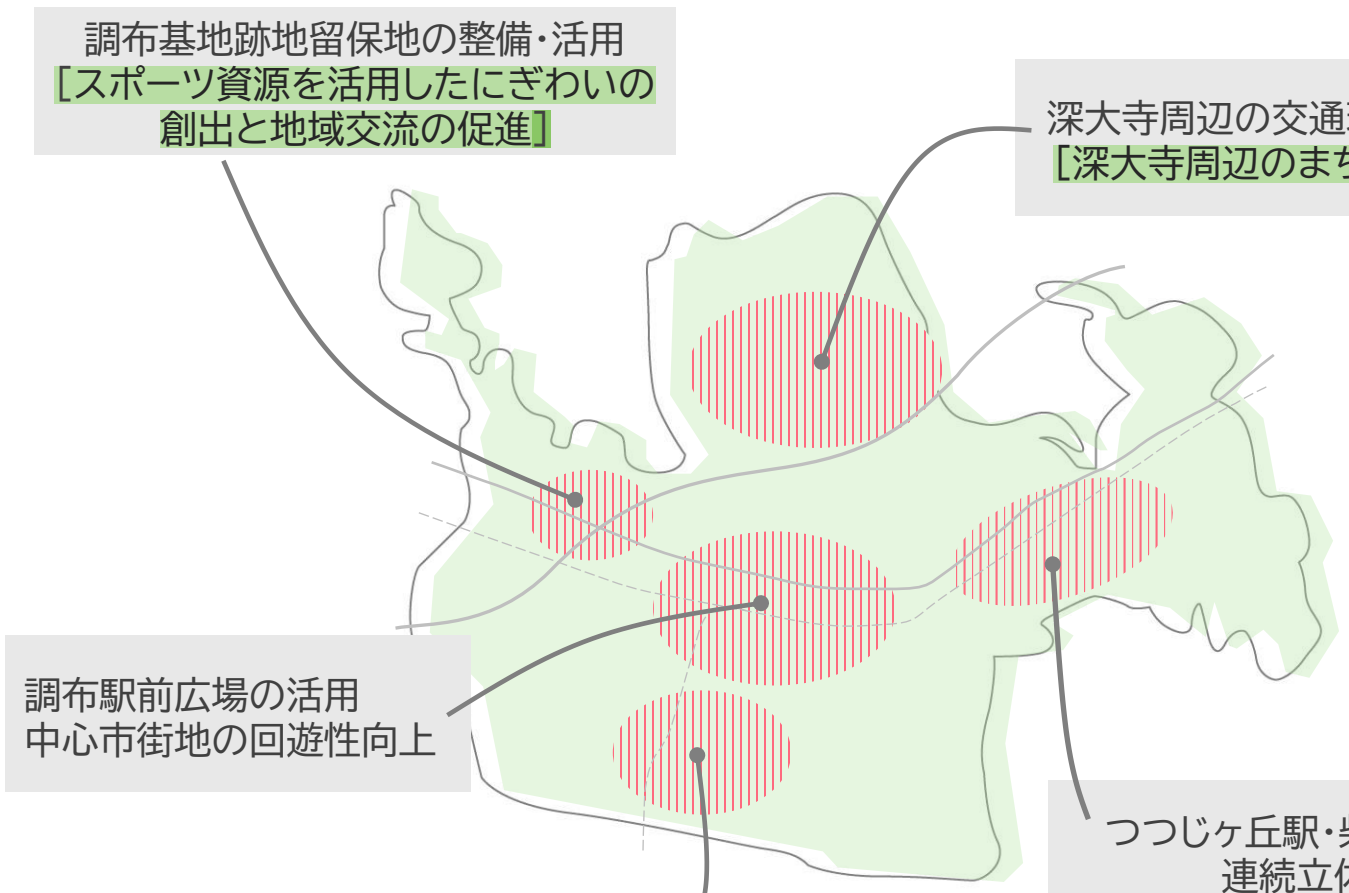
事業選定の視点（所信表明キーワード）

スマホ市役所の導入推進
デジタルデバイド対策
AI活用による業務効率化・DX推進
市民に向き合う時間の確保
市役所の組織改革
民間活力の積極的な導入
事業の評価、見直し、選択と集中
新たな財源や雇用の創出
公共施設マネジメントの推進

市長あいさつ
「調布 新時代」の
まちづくりに向けて
第1編 総論
第1章 概要
第1節 位置付け
第2節 計画期間
第3節 構成
第4節 策定の視点
第5節 進行管理
第6節 地方版総合戦略との関係
第2章 策定に当たっての前提
第1節 社会潮流
第2節 人口
第3節 財政
第4節 土地利用
第2編 重点政策
第1章 重点政策5つの柱
第2章 インフラ整備と地域別まちづくり
第3編 分野別計画
第4編 行革プラン
第5編 地域別計画

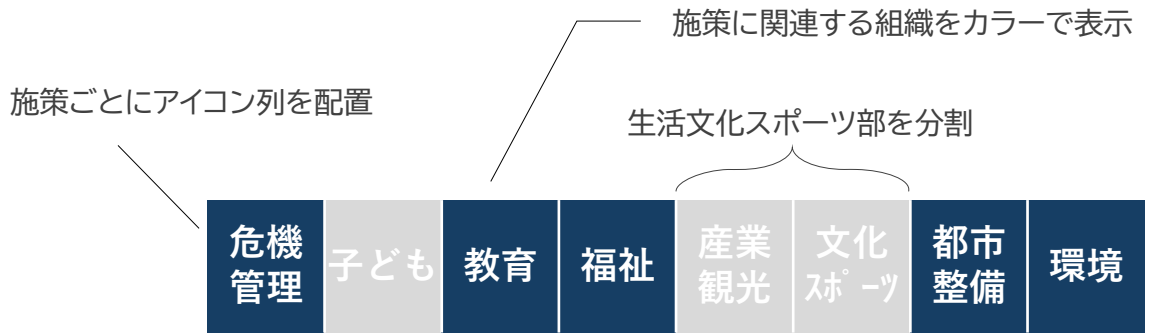
第2章　インフラ整備と地域別まちづくり

地域ごとのまちづくりの効果を市域全体に波及させるイメージを表現する



3. 「組織横断的な取組」の示し方

危機管理	子ども	教育	福祉	産業観光	文化ｽﾎﾟｰﾂ	都市整備	環境



- 部名をベースに、視認しやすいアイコンになるよう、名称を調整。
- これまでも各施策の主管課と関係課が連携して取り組んでおり、全ての施策において組織横断的な連携が図られてきた。
- 個別の連携事業を特出しするのではなく、各施策に関連するアイコンを表示することで組織横断的に施策を推進していることを示す。

危機管理 | 子ども | 教育 | 福祉 | 産業観光 | 文化スポーツ | 都市整備 | 環境

組織横断的に取り組んでいることを示す

日頃から災害に備え、互いに助け合うまち
施策01　災害に強いまちづくり

施策のねらい

地震や風水害などの自然災害から市民の生命と暮らしを守るため、自助・共助・公助による防災力の向上と避難支援体制の充実を図るとともに、防災拠点や備蓄体制の整備、浸水対策や都市基盤の耐震化、消防力の維持・向上を進め、安全・安心に暮らし続けられる災害に強いまちを目指します。８７

まちづくり指標候補

指標名
災害時の情報を入手することができる市民の割合
市の訓練に参加または訓練を実施した防災市民組織の割合
浸水対策の推進（雨水管理総合計画に基づく対策量）
消防団員数の定員充足率

これまでの主な取組成果

＜防災体制の強化＞
・防災市民組織支援や総合水防訓練・総合防災訓練実施による地域防災力向上
・防災備蓄品の充実（アルファ米の個食化、福祉避難所用簡易ベットの配備 等）
・トイレカー、資機材搬入車導入による災害対応力向上
・災害対策基本法の改正を踏まえた調布市避難行動要支援者避難支援プランの改定
・調布市避難行動要支援者避難支援プランに基づく個別避難計画の段階的な作成推進
・避難行動要支援者名簿の作成及び避難支援等関係者への提供
・遠距離自治体との受援協定活用、受援応援計画の策定による広域支援体制整備
・三師会等の医療機関系団体と協議・調整、緊急医療救護所設置訓練の実施
・防災行政無線の難聴対策として、スマートフォンの防災アプリ「全国避難所ガイド」との連携、Ｊ：ＣＯＭ調布市防災情報サービスの利用補助
・避難者情報データ化に向けた取組

＜災害に強い都市基盤の整備＞
・雨水管理総合計画の策定、狛江市との連携によるポンプ施設整備に向けた取組の推進
・特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化支援、一般緊急輸送道路沿道建築物の耐震化補助新設
・都市計画道路の整備、老朽インフラの長寿命化計画の推進
・上下水道耐震化計画（下水道）の策定

＜消防力の維持・向上＞
・地域・社会に貢献する調布市消防団の活動に感謝・応援するまち宣言を踏まえた活動環境の整備や、消防団装備品・消防資機材の適切な更新
・消防団員確保に向けた広報

主要な課題等

・地域防災力の担い手確保と多世代の防災意識の啓発
・国や東京都の首都直下地震の被害想定と連動した取組
・避難所運営体制の強化（地域協定の担い手確保、個人情報の取扱い、多様なニーズへの対応、感染症対策、避難所運営指針改定への対応）
・福祉専門職との連携による個別避難計画の段階的な作成推進
・災害時の情報伝達・受援・医療救護体制の実効性向上
・緊急医療救護所の設置に向けた連絡体制の確立、医薬品や医療資材の備蓄
・（仮称）調布市防災・スポーツレクリエーション公園整備事業を通じた防災拠点の確保
・フェーズフリーの考え方に基づく、防災・減災意識の醸成
・被害想定や気候変動等を踏まえた防災計画・浸水対策の推進（国・東京都制度改正への対応、流域治水の促進、工事費高騰への対応）、河川整備と連携した吐口改修事業の推進
・緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の促進（支援の継続、所有者等への啓発等）
・緊急輸送道路の強化区間・ネットワーク強化区間の沿道建築物の早急な耐震化
・消防団員の確保・定着と消防力の維持向上（装備・活動拠点の更新等）

基本的取組

01-1　防災態勢の強化

○地域の防災態勢づくり、首都直下地震の被害想定を受けた自助の推進
○防災備蓄品の配備及び備蓄倉庫の整備
○調布基地跡地留保地を活用した大型防災拠点の整備
○避難者情報のデジタル化、災害情報システム等の効果的な活用
○災害対策本部体制の強化
○災害時における配慮が必要な方への取組の強化
○災害時における他団体等との連携強化
○関係機関等との連携体制強化
○避難所等の円滑な運営に向けた対策の推進
○災害医療救護体制の充実
○火山噴火による降灰対策
○円滑な災害廃棄物処理体制の整備

01-2　災害に強い都市基盤の整備

○総合的な浸水対策の推進
○緊急輸送道路の沿道建築物耐震化の促進
○骨格となる都市基盤の整備
○下水道の耐震化の推進

01-3　消防力の維持・向上

○消防団の円滑な運営と対応能力の向上

基本計画事業候補

・地域防災力の向上
・調布市避難行動要支援者避難支援プランの推進
・防災備蓄品の配備及び利活用
・災害情報システム等の効果的な活用
・小・中学校施設の整備［再掲］
・緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進
・下水道施設における浸水・地震対策の推進
・下水道施設の老朽化・劣化対策の推進[再掲]
・消防団の災害対応能力の向上

関連する個別計画

・調布市地域防災計画（令和６年１２月修正）
・調布市国土強靭化地域計画（令和３年３月）
・調布市避難行動要支援者避難支援プラン（総合計画）（令和７年３月）
・調布市耐震改修促進計画（令和８年３月）
・調布市雨水管理総合計画（令和８年３月）
・調布市上下水道耐震化計画（下水道）（令和７年１２月）